

第1回定例会（予算特別委員会）報告

市民の安全・安心のために委員会質疑において発言。実のある答弁を引き出すことができました。こちらでは内容の一部を報告させていただきます。

○歩道の安全対策図れ！



平成25年2月、塚越踏切手前歩道で3人乗り自転車が転倒、後ろに乗っていた5歳の女兒が車道に投げ出され、轢死するという痛ましい事故が起きました。

ぬまざわ議員は早速現地に赴き調査、改善策を当局に提案しました。縁石の段差解消のために、各所で設置されているブロックが自転車の車道走行を妨げていることを指摘。撤去の推進と勾配付縁石の導入を提案しました。

また歩道に突出している電柱の撤去策として軒下配線や裏側配線による無電柱化を推進するよう求めました。

さらにスタントマンなどが事故を再現する「スケアード・ストレート」方式による交通安全教室の学校などでの開催拡充も求めています。

○緊急トランクルーム鍵の共通化図れ！

公営住宅、民間マンション等に設置されているエレベーター奥にあるトランクルームは、ストレッチャーなどが救急搬送時に折りたたまず入れるように使用するためのスペースです。

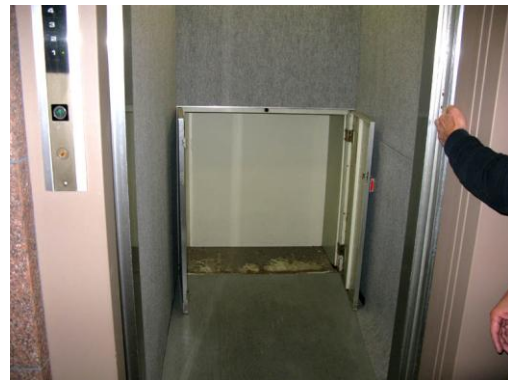
平成15年にこの鍵の統一化が図られ、救急隊員が共通鍵（EMTR用）を所持することによって、何時でも必要な時に開錠できるようになりました。

事前調査によると公営住宅では30%程度しか共通化されておらず、民間でも平成15年以前に設置されたエレベーターについては、緊急時に共通鍵が使用できないことが懸念されます。

一刻も早い患者搬送を可能にするために、公営・民間住宅を問わず普及・周知を図るべきと提案。

まちづくり局長は「市営住宅については定期点検の際に順次更新を図り、民間については機会あるごとにお知らせしていく」と答弁。

さらに集合住宅入口のポールなどによって入場を阻まれる民間救急や24時間訪問看護の車両についても共通鍵の貸し出しを提案。各自治会等に周知するよう求めました。



○PTA 会費の不適切支出の解消図れ！

昨年の文部科学省調査において、川崎市内5校の高校で本来「公費で負担すべき支出」が、PTA 会費から過去5年間で3900万円余支出されていたことが公表されました。

内訳は、学校の内壁塗装代、修繕費に1200万円余、印刷代に1000万円余、校内の樹木剪定や教育研修費などに支出されていたことが明らかになりました。

また PTA 会費の納入金額の相違について、小学校では年間1800円から6000円、中学校では2400円から8400円の開きがあることを指摘。小・中学校においても本来「公費で負担すべき支出」などが見受けられるため、調査・監査を行うべきと質しました。

教育長は「すべて総会で審議され、会員総意のもとで運営されているものと考えている」との答弁。

公費（学校予算）・私費（保護者負担）の区分については、法令で定められており「建物の維持・修繕に要する経費については、住民に負担を転嫁してはならない」とされていることから、PTA 会費に依存することなく予算化が図られるべきです。過去の教育長通達では、「PTAの会費はすべて本来の活動のために充てるべきもの、寄付金（学校援助費）については解消することが望ましい」としています。

ぬまざわ議員は、公平性と負担軽減の観点から適正執行が行われるよう求めました。





市政にあなたの声を!!

ごあいさつ

国の大型補正予算が可決し、いよいよ防災・減災のための本市での予算化が図られました。

市民の安心・安全また景気浮揚のためにも効率的な執行が求められています。

ミュージア川崎の復旧オープンや大手企業の臨海部進出など明るい話題もでてきています。日本再生に向けて働いてまいります。

今後もこれまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

○江ヶ崎跨線橋ついに開通!

多くの住民から署名を頂いた待望の江ヶ崎跨線橋の竣工式典が3月28日開催され、横浜・川崎の近隣町内会のみなさんと渡り初め。

矢向側には信号機も設置され、小倉側には「かながわの橋百選」の名残りを残すオブジェも設置されています。



○体罰を根絶せよ!

わが党の体罰に関する代表質問に対し、市長は「子どもと教師の信頼関係を基盤とする教育現場では、決して許されるものではない」と答弁し、教育長は「実態把握のため2月18日に電話相談ホットラインを開始し、今年度内に教職員に対する面接、聞き取りを行なう」と答弁しました。

体罰および不適切な指導を教育現場から一掃するよう求めました。

○道路の空洞化調査の推進図れ!

代表質問において、震災時などの道路陥没を防ぐための方策と実施時期を質問。建設緑政局長は、「平成25年度からの3ヶ年ですべての緊急輸送路について実施する。54路線、総延長約209kmが対象」と答弁。災害発生時の救命活動に支障が出ないよう安全対策に取り組むことを約束しました。



○橋梁の耐震化急げ!



代表質問において、架橋耐震化の進捗状況を質問。本市管理の618橋のうち、二次災害の恐れのある路線橋など124橋を選定し、平成23年度末時点では100橋の耐震化が完了していることが明らかに。残る24橋についても平成26年度まで取り組むことを表明。

「今後は239橋の点検と2橋の修繕工事を補正予算で実施する」と答弁しました。これに対して国の大型補正予算の活用を求めました。

○南武線立体交差化を早期事業化せよ!!

公明党は、総合都市計画において10年以内の着工と位置付けられたことを受けて質問。建設緑政局長は、「JR東日本および横浜市と事業化に向けた取り組みを進めており今後は国庫補助を活用した本格調査に向けた調整を実施し、早期事業化を進める」と答弁。早期着工を推進します。

介護・住宅・医療など

暮らしの相談お気軽に!

TEL(599)3984
Fax(588)3222
Mail to k-numa@numa-k.com